

疫学研究の実施についてのお知らせ

京都大学医学部附属病院 腎臓内科、腫瘍内科およびオンコネフロロジーユニット、薬剤部では病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願いいたします。

平成 30年 4月 20日

1. 研究計画名

電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究

2. 研究の意義・目的

当院におけるがん薬物療法の治療成績を調査し、主にがん薬物療法と腎障害との関連性に関して研究を行い今後のがん診療の参考資料とします。

3. 研究の方法

2004年1月～研究期間終了（2023年3月31日）までの間に当院のデータベース、電子カルテに登録された症例を連続して抽出し、がん診療の実態や、その治療成績を調査し、腎障害前後の介入や有害事象と予後の実態調査や相関解析を行うことで、有害事象や予後良好あるいは予後不良に関連する因子の検討を行ないます。

4. 個人情報の保護について

本研究は本学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。個人情報（個人が特定できるような氏名・生年月日などの情報）は文部科学省・厚生労働省の指針に従い厳重に管理いたします。

本研究のために調査する資料はカルテ番号(ID番号)に別の登録番号を付与し、どの人の資料かが直ぐにはわからないようにして作成することにより、個人情報とプライバシーの保護に努めます。本研究で扱われている個人情報に関しては開示を求めることができ、また窓口までお問い合わせ頂ければ、研究の実施に支障の無い範囲で計画書等を閲覧して頂くことも可能ですし、当該研究の実施に係る記録（文書及び電子記録）を試験終了後、結果の公表から10年以上保存します。本研究に参加を同意されない対象者の方は、下記連絡先まで不参加のお申し出をいただくことで、その時点より解析およびデータより研究対象者が識別される試料・情報の利用は中止されます。

5. その他

本研究はすでに当院で治療を受け、当院の電子カルテやデータベースに記録保存されているデータを用いて行います。本研究の対象となった場合も謝礼のお支払いはありません。

6. 本研究に関する問い合わせ窓口

京都大学医学部附属病院 腎臓内科 (電話 075-751-3860)

研究責任者 教授 柳田素子 kidney2011@kuhp.kyoto-u.ac.jp

病院の相談窓口

総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp